

スポーツYAMATO

車
逆
転
3
塁
打

オー
プ
ン
戦
第
一
弾

vs
山
梨
学
院
大
学

山梨学院大学との第一試合。5回裏に逆転3塁打を放った車キヤブテン。新しいバッティングフォームがいよいよ真価を発揮。後半戦に向けて上々のスタートを切った。

リーグ戦第3節鹿兒島大会出場辞退し、次なる公式戦は9月30日から始まる第4節三重大会となった。出場辞退によって2敗を喫し、1位通過を狙うにはもう1敗も出来ななくなり、三重大会は3戦全勝が必須だ。大事な戦いを控え実戦感覚を取り戻しながら調子を上げていきたいと言っているから、3週間12試合のオープン戦を計画した。その第一弾は9月10日(土)山梨学院大学と試合を行った。第1試合は1回表に1点を先制されたがその後は相手打線をエース大串が0点に抑えた。5回裏にチャンスが到来し、1点を返し同点とした後、ランナー1、2塁のチャンスに5番車が右中間を破るタイムリー3塁打を放ち2点を追加し、一気に試合をひっくり返した。7回には先発した大串がリエントリして相手打線を抑えて、見事3-1で勝利した。第2試合は1回裏

に3失点、2回裏にも2点を失い、一方的な試合になるかと思われたが、その後は古川、木村、斉藤の3人の投手が試合を作り、3回以降は相手に点を奪われることはなかった。特に古川は2回裏満塁の場面で登場し、2点を許したものの、3回、4回は完璧なピッチングで4回は3三振で締めくくった。一方打線は4回表に新人選手が活躍した。森本が絶妙なバントヒットを決め、稲垣のレフト前タイムリーヒット、矢崎のセンター犠飛などにより、3点を取った。チームは追い上げムードになったが、その後は点を奪えず、3-5でゲームセットとなった。

新海上昇なるか

試合前に前半戦絶好調だった新海に話を聞いたところ、「最近絶不調」との事だった。また、毎年の事の様だが、「前半戦は調子が良いが後半戦不調になるジレンマがある」と語った。そんな新海の言葉とは裏腹に第1試合の1打席目に完ぺきな当たり2塁打を放つと、5回裏にはシングルヒットではあったが、これも素晴らしい当たりを放った。不調の中でもしっかりと



宮崎の代役は?

新人で一塁手のレギュラーだった宮崎が半月板損傷によりしばらく戦線を離脱することになってしまった。これにより一塁手を早急に育成する必要が出てきた。オープン戦を通じて適性を見極めていくと思われるが、宮崎の代役は誰が掴み取るのか?この争いに注目だ。

りと結果を残す所は流石と言えるだろう。前半戦は新海のバットがチームを勝利に導いてきた。来るべき決戦には新海の調子がカギになることは言うまでもないだろう。